

アップ 平成27年度 介護保険の利用状況

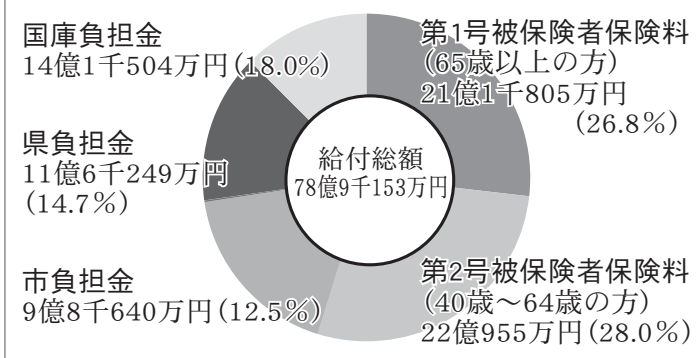
介護保険制度は、介護が必要になっても、安心して日常生活を送ることができるよう、社会全体で高齢者の介護を支える仕組みです。今回は、その介護保険の利用状況などをお知らせします。

■増え続けている要介護認定者と保険給付額

28年3月末現在の要介護(要支援)認定者数は5,846人で1年間で124人増えました。保険給付費の総額は78億9,153万円で、26年度に比べ2億7,375万円の増となっています。介護サービス別では、(表1)のとおり全体で3.6%の増となっています。

また、高齢化が進んでいる一方で、要介護認定率は全国平均より低く、健康で自立した生活を送っている高齢者の割合が多いことが(表2)から伺えます。

介護保険給付費の財源内訳(グラフ)



■認知症の方や介護者にやさしい地域づくりを進めます

現在、市民の高齢者の7人に1人が要介護(支援)認定を受けており、その約半数の方に認知症の症状が現れています。



今後、さらに高齢化が進む中、市では、認知症の方やその介護者、地域住民が気軽に集い、交流や相談もできる「オレンジカフェ」の普及を進めています。このカフェは、お茶を飲みながら日ごろの悩みを語り合える場として、介護者の心理的・身体的負担の軽減に役立っています。なお、認知症の有無や年齢にかかわらず、どなたでも利用できます。

名称	場所	開催日
オレンジカフェ	入間川1-3-1 (中央公民館)	毎月第3金曜日 10時~12時
コモンズサロン	狭山台2-30-7 (コープ狭山台付近)	毎週火・木・土曜日 9時~11時
わかばカフェ	南入曽1048-2(特別養護老人ホームむさしの園わかば内)	毎月第2火曜日 14時~16時
カフェテリア太陽	水野596 (介護老人保健施設 愛内)	毎月第3火曜日 9時~11時
コミュニティーカフェ「ゆうあい」	柏原3161-10 (柏原ショッピングセンター内)	毎月第1月曜日 10時~12時
リフレッシュサロン	狭山台1-21 (狭山元気プラザ内)	毎月第1月曜日 13時~15時
わが家カフェ	南入曽599-6	毎月第3水曜日 14時~16時

介護サービス別の利用状況(表1)

サービス内容	給付費	対前年増減率(%)
①居宅サービス	42億651万円	0.8
訪問介護	4億5,976万円	△5.5
訪問入浴介護	4,250万円	△2.2
訪問看護	2億2,510万円	9.7
訪問リハビリテーション	2,320万円	△8.2
通所介護	12億8,112万円	△2.3
通所リハビリテーション	4億885万円	2.9
福祉用具貸与	2億4,144万円	3.2
短期入所生活介護	4億2,543万円	△8.0
短期入所療養介護(老健)	3,849万円	5.2
居宅療養管理指導	7,415万円	19.1
特定施設入居者生活介護	4億7,637万円	15.0
特定福祉用具販売	1,182万円	2.1
居宅介護住宅改修費	4,341万円	△9.3
居宅介護支援	4億5,487万円	4.3
②地域密着型サービス	4億2,470万円	3.1
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2,543万円	52.7
認知症対応型通所介護	5,301万円	△0.9
小規模多機能型居宅介護	2,515万円	△1.6
認知症対応型共同生活介護	2億3,638万円	3.4
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	8,473万円	△3.2
③施設サービス	27億4,549万円	7.0
介護老人福祉施設	16億4,249万円	16.4
介護老人保健施設	9億7,578万円	△4.3
介護療養型医療施設	1億2,722万円	△6.7
④その他	5億1,483万円	10.8
審査支払手数料	629万円	△18.6
高額介護サービス等費	1億4,085万円	13.4
高額医療合算介護サービス等費	2,591万円	30.8
特定入所者介護サービス等費	3億4,178万円	9.2
保険給付費(①+②+③+④)	78億9,153万円	3.6

狭山市の高齢化率と要介護認定率(表2)

区分	年度	狭山市	全国平均	埼玉県平均
高齢化率	27年度	28.2%	27.1%	24.4%
	26年度	27.1%	26.2%	23.7%
要介護認定率	27年度	13.1%	18.4%	14.7%
	26年度	13.2%	18.4%	14.6%

問合せ介護保険課へ内線1551



●市内8地区で「ふれあい市民懇話会」を開催

10月11日(火)~20日(木)に、各地区センターで「ふれあい市民懇話会」を開催しました。



延べ440人の方が参加したこの懇話会では、市のまちづくりの指針となる第4次総合計画と市の財政状況について職員が説明。続いて市長が自ら、総合計画に掲げる4つの重点テーマ「若い世代を増やす」、「まちと産業に活力を」、「楽しめる健康高齢社会を」、「市政運営をみんなの力で」に取り組む決意を語りました。

参加者からは、道路や歩道、子育て、教育などの意見をはじめ、人口減少対策や財政問題などの提案が寄せられ、どの会場も予定時間を超えて活発な意見交換が行われました。いただいたご意見などは、今後のまちづくりに生かしていきます。

問合せ政策企画課へ内線7132

●河川改修に関する要望書を提出

10月25日(火)、狭山市、所沢市、入間市の3市長連名で、台風9号による豪雨で溢水した不老川などの改修を求める要望書を国土交通大臣と財務大臣に提出。早期改修に向けた活動を展開しています。

問合せ道路雨水課へ内線2151

ONE for All 市長が走る! ⑬

秋の恵みに感謝の気持ちを

毎年、友好交流都市の新潟県津南町に田植えに行っていますが、春先に植えた「こしひかり」の苗は、この時季見事に実り、収穫の喜びを感じさせてくれます。

日本では、五穀の収穫を神々に祝う習慣があり、23日には新嘗祭(にいいなめまつり)が皇居で執り行われます。この日は「勤労感謝の日」で祝日ですが、「勤労を尊び、生産を祝い、国民互いに感謝しあう」ことが重要なことと言うまでもありません。

さて、狭山市では、夏は渇水と台

風に見舞われたものの、里芋や葉物野菜などは、例年以上に質の良い出来栄えだそう。狭山市は、豊かな大地と水に恵まれていると改めて感じます。

さて、恵みの川といえば入間川もその一つ。先日、入間川の再生に取り組んでいる方から「蛍のえさとなるカワニナが繁殖している。蛍の復活も夢ではない」と教えてもらいました。市民と行政が互いに協力し、努力した結果、豊かな自然が戻りつつあります。地域の環境を守り、次世代に引き継いでいこうとする皆さんの思いと、その勤労に感謝し、秋の恵みをいただきたいと思います。



おいしい狭山の野菜を食べましょう

市長の主な動き

○10/1・2・8・12・15...市内保育所、幼稚園運動会 ○10/2・10...各地区体育祭 ○10/10・23...各地区敬老会 ○10/11・13・14・16~20...ふれあい市民懇話会 ○10/12...自治会連合会幹事との懇談会 ○10/14...ワージントン市民親善訪問団表敬訪問 ○10/17...県市長会定期総会・市長研修会 ○10/23...商工祭・交通安全フェア・モノづくり企業フェア ○10/25...国土交通省・財務省要望活動 ○10/30...市民文化祭

●行政評価の第三者評価を実施

平成27年度に市が実施した事務事業を評価した結果に対する第三者評価を10月18日(火)に実施しました。対象となった事務事業は、狭山市行財政改革推進委員会が選定したもので、市が自ら評価した、事業の「必要性」・「有効性」・「効率性」・「今後の方向性」などを、市民の視点から公開の場で改めて検証しました。

今回は5つの事業を検証し、市の評価の妥当性だけでなく、今後望まれる改善点など多くの意見が付けられました。

第三者評価の結果は、今後、下半期の事務事業の執行と次年度の予算編成に活用していきます。

※詳細は、ホームページでご覧いただけます

問合せ行革推進課へ内線7051

●姉妹都市ワージントン市の親善訪問団が来庁

10月14日(金)、オハイオ州ワージントン市の親善訪問団7名が市長を表敬訪問しました。



平成5年から続く両市の国際交流協会による市民レベルの相互交流が発展し、11年11月に両市は姉妹都市を締結。文化やスポーツ、教育などの分野で交流を続けています。

訪問団の一行は、市内で座禅の体験や茶もみの見学、「入曽の獅子舞」を鑑賞し、狭山市の魅力を肌で感じながら、友好関係を一層深めました。

問合せ市民生活課へ内線2513